

## ◆ 法人会員紹介 (株)ホウトク、(株)スミノエ、(株)エー・ジー・クルー)

### ■ 株式会社 ホウトク

ホウトク 07 New Model



Artifort License Model



kusch 06 Orgatec Model



ホウトク自社ブランドの他、オランダ・アーティフォート、ドイツ・クッシュなど海外ブランドもお取り扱いしております。  
詳しくは担当者までお問い合わせください。

株式会社ホウトク  
ブランド販売促進部  
担当：安原  
〒110-0013 東京都台東区入谷1-14-2  
TEL03-5603-5222 FAX03-5603-5220  
URL:[www.houtoku.co.jp](http://www.houtoku.co.jp)

### ■ 株式会社 スミノエ

スミノエでは「健康・環境・リサイクルそしてアメニティ」を基本理念とし、安心して過ごせる室内環境の実現と環境保護への取り組みを続けています。その一環としてグリーン購入法特定調達物品適合品で「エコマーク」の新基準もクリアしたリサイクルタイルカーペット「スミグリーンSG-300」を発売。パイル素材、バ



スミグリーン SG-300  
ポリエステル（スミトロン）100%  
¥8,400/m<sup>2</sup>  
(表示価格は消費税を含みません)

ッキング材とともに再生材料(ポストコンシューマ材料)を使用、製品全体重量比25%以上で業界初のエコマーク新基準認定商品となりました。また上質かつ快適さを追求したロールカーペットシリーズ「カーペットコンシェルジュ」では独自の消臭機能「トリプルフレッシュ加工」を施した商品が充実し、中でも「ウールレックス」は、ウールマークのカットパイル商品で30色ものカラー展開をするなど、品質・素材・デザインにもこだわったアイテムが多数揃っています。安心・快適から生まれるくつろぎの空間へ。スミノエでは皆様に安心してお使いいただけるインテリア製品づくりに今後も積極的に取り組んでまいります。

株式会社スミノエ  
担当：東日本開発部 牛居  
〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル4F  
TEL03-5434-2928 FAX03-5434-2206  
URL:<http://suminoe.jp>  
営業品目  
カーペット・カーテン等 各種インテリア製品の製造・販売

## ■株式会社エー・ジー・クルー



MIRASTAR

MIRASTAR（ミラスター）は、クロームを含む多重コーティングをかけ、耐食性を備えるとともに、水蒸気や洗浄剤に対し防水性を保持した"腐食しない"ミラーです。ラミネート加工も可能であり、曲げ加工、ならびにエクステリア用に複層ガラスにも最適です。



POWER GLASS

POWER GLASS（パワーグラス）は、LEDの放つ光を実用化した世界特許を持つハイテクガラス製品です。ガラス内部に電力を供給する配線は目に見えないため機能的なデザインが可能となり、最新技術とアートの融合が実現。新しいインテリアを創出します。

### 株式会社エー・ジー・クルー

担当：成田明子

〒164-0014 東京都中野区南台5-34-10 ヒカリビル2階

TEL03-5342-4111 (代) FAX03-3382-2366

E-mail narita-n@azcrew.com URL : [www.azcrew.com/](http://www.azcrew.com/)

## ◆ JIFA報告

### 雨のち吹雪！奥日光丸沼釣行の報告

11月11日（曇りのち雨、その後強風）

いろは坂を登って中禅寺湖、戦場ヶ原をひた走り、残雪を横目に金精峠を越え、一路丸沼を目指しました。明智平あたりから雲行きが怪しくなり、どしゃぶりの中禅寺湖畔でワインを仕込み、午後1時頃、氷雨の降る冬枯れの丸沼着。

同行のS師匠は、さっそくうどんを食し、生ビールとつまみで戦意消失、湖を前に気のはやる僕は、以前いい思いをしたポイントにウェーディングしてキャストをくりかえすも、釣れるのは葉っぱだけです。3時頃、上からおもちゃのような車「けろよん号」が降りてきて、ビギナーT女史も無事？到着しました。

しばらく釣りに夢中になり、ふと後ろを振り返ると完全武装の浦会長がロッドにラインを通しています。皆さん全員到着していて、やあやあと湖岸での再会となりました。

暗くなるまでしばし全員でフライフィッシングです。各々のポイントに入り、雨で震える寒さのなか竿を振りますが、ノーフィッシュ！「まー今日はこのくらいでかんべんしてやろー」と負け惜しみを言いつつ肩を落として宿に入りました。温泉で冷え切った体を暖め、夕食後は部屋でフライタイイングが始まりました。フライおたくの宴会は毛針をサカナに盛り上がり、丸沼の夜は更けていきました。

11月12日（雪のち吹雪、その後晴れのち吹雪）

4時半起床、明け方の凍てつく寒さの中、ヘッドラップで針を結び湖に立ちこみます。

気温はマイナス、ラインもガイドも凍り雪が激しく降る中、それぞれ黙々とキャストを繰り返す姿に男気を感じるけど不確実極まりない相手にほとんどやせがまんの状況です。雪が激しくなり、湖岸は一面の雪景色に変わっています。とりあえず「このくらいでかんべんしてやろー」と朝風呂に浸かり、朝食の時にこれから相談です。「タイヤチェーンが無いから早めに山を降りたほうが良いでしょう」それから「魚の顔を見たいので帰りに管理釣り場に寄って帰ろう」との意見が一致して、バタバタと逃げるようになり支度を始めました。

沼田方面へ下る「けろよん号」浦会長、T女史と丸沼で別れ、魚の顔を見たい「日光組」は決死の金精峠越えです。最初は良い調子で登っていましたが、標高が上がるにつれ、吹雪となりました。標高1700M、菅沼を越えたあたりで、金精峠手前で立ち往生している車がいるとの情報もあり、ノロノロと沼田方面へUターンです。

途中、「ひょっとして浦さん、丹藤さんがいるかも？」なんて言いながら片品の尾瀬フィシングライブという管理釣り場に寄りました。雪の中、ドライへの反応も良く、大型のレンボンの引きを堪能し短い時間でしたが「浦さん、丹藤さん、ごめんなさい！」面白い釣りができました。

晴れ男、晴れ女の参加で天気は大丈夫と思っていましたが、終わってみれば、秋から冬に激変するすごい日に、選んだようにすごい所へ行ってしまったようです。11月の丸沼はちょっと無謀な計画だったかと反省しています。

JIFAの釣りもこの丸沼で納竿となりましたが、来年も楽しい企画がまっています。